

- 1 会議名 議会運営委員会
2 日 時 令和5年8月22日(火)
開会 午前10時
閉会 午前10時50分
3 場 所 正・副議長応接室
4 出席委員 (委員長)梅村均、(副委員長)須藤智子
(委員)谷平敬子、大野慎治、梶谷規子
5 欠席委員 なし
6 出席議員 関戸郁文議長、片岡健一郎副議長、水野忠三議員、塚崎海緒議員
7 説明員 行政課長 佐野剛
8 事務局 議会事務局長 丹羽至、同統括主査 寺澤顕
9 委員長あいさつ
10 議長あいさつ
11 協議事項

(1) 令和5年9月(第3回)定例会について

①議案の上程について

行政課長：資料に基づき説明

先議として一般会計補正予算1件、報告3件、条例の制定1件、条例の一部改正5件、先議を除く補正予算2件、令和4年度決算認定7件、その他道路線の廃止・認定2件の計21件の付議事件と確認した。

【質疑】

質疑なし

②会期の確認について

議会事務局統括主査：資料に基づき説明

資料会期(案)のとおり議会に諮るものと決した。

先議の議案は、従来通り委員会付託し審議するものと決した。

9月定例会中の全員協議会開催は9月22日を前提に定例会初日の議会運営委員会で決定するものと決した。

【質疑】

関戸議長：先議である議案第56号一般会計補正予算の内容は支給対象者が増えたことによる増額補正であるため、委員会付託を省略してはどうか。

大野委員：私も同様に考える。委員会付託省略が良いのではないか。

梅村委員長：議案を委員会に付託することが前提であるため、議員が一人でも委員会付託省略を反対するのであれば、どうかと考える。全議員が委員

会付託省略に賛成となればその場合は良いかもしれないが、これまでコロナ感染症に関連して省略したこともあったが、それでも、省略には相応の理由が必要になると考える。仮に委員会付託を省略する方向で議会運営するならば、本会議議案質疑で細かい質疑が行われる可能性も執行機関に伝えないといけない。

大野委員：委員会付託省略の手続きはさほど複雑なものではない。本会議で諮るだけではないか。

議会事務局統括主査：手続きとしてはそのとおりである。

梅村委員長：この議案に対し議員から何かしら質疑は出るであろう。

関戸議長：本会議で質疑いただくことになる。

木村委員：委員会付託を省略するのはいかがなものかと考える。全委員が合意するならば仕方なしだが、今回の委員会付託省略が前例になってしまっ
てはいけないし、今後も同様のケースになったときに線引きがわからなくな
ってしまっ
てはいけない。

梅村委員長：財務常任委員会には議員全員（議長除く）出席でもあるし、議案
を慎重に審査するというスタンスは守ったほうが良いかと考える。委員会
付託省略はしづらいと考えるがどうか。

大野委員：本会議で質問することと委員会で質問することはさほど変わらない
と考えるがどうか。

梅村委員長：委員会での審査が不必要で本会議質疑だけで十分じゃないかと
いうのも良くない。

大野委員：補正予算に付された事務事業は1件で、それも予算の増額補正の
みであることから特例としたらどうか。

関戸議長：補正対象の事業は審議済で、その経費も国庫補助で100%補填さ
れる背景もある。

大野委員：そのとおりである。本会議の質疑で十分ではないか。

木村委員：私は疑問に思う。

須藤副委員長：委員会付託してはどうか。

大野委員：仮に本会議での質疑がなく、委員会で質疑するなら同じではない
か。補正の対象の事業が複数項目にまたがるなら話は別だ。

梅村委員長：会議録の作成が増えるとか効率的な議会運営を目指すというこ
とは置いておいて、議案をしっかりと審査するという立場に立ち返って。

大野委員：以前にも今回のような補正予算に対する議案があった。そのとき
は委員会付託を省略している。前例があるから良いのではないかと考える。

木村委員：コロナ禍でもあったが。

大野委員：そのときは、コロナ禍を1番の省略理由とせず、事業の中身が既に審査済みであったことを理由としている。

梅村委員長：委員の意見がまとまらないようである。よって、今回は、従来通り委員会付託をして委員会審査を行いたい。

③議案精読時間について

10分間と決した。

④一般会計・特別会計決算審議での質疑区分について

議会事務局統括主査：資料に基づき説明

資料のとおりと決した。

【質疑】

水野議員：この質疑区分で本会議議案質疑及び委員会審査を行うのか。

議会事務局統括主査：本日の議会運営委員会協議事項として取り扱った質疑区分は本会議質疑区分のものである。委員会審査における質疑区分は、後日の議会運営委員会協議事項で取り扱わせていただく。

木村委員：上水道事業会計や公共下水道事業会計の質疑区分はないようだが別か。

議会事務局統括主査：一般会計と特別会計は一冊の決算書にまとめられており、上水道事業会計と公共下水道事業会計の決算書はそれぞれに別の決算書があるからである。

⑤代表監査委員への質疑通告について

慣例により、通告期限を本会議初日8月28日（月）午後5時と決した。

議会運営委員会終了後に本件について、議員あてに文書通知するものと決した。本会議での質疑の順番は慣例により提出順であることを確認した。

【質疑】

質疑なし

⑥決算証書類審査について

慣例により、初日は午前10時から午後5時まで、2日目は午前9時から午後5時まで、最終日は午前9時から午後4時までと決した。資料要求の期限は、決算証書類2日目（9月8日）の午後4時と決した。

【質疑】

質疑なし

⑦一般質問発言順序について

議員14名から一般質問の要旨が通告されたことを確認し、一般質問の初日及び2日目を5名ずつ、3日目を4名が行うものと決した。

また、一般質問の順序は、くじにより次のとおりと決した。

9月4日（月）

鬼頭博和議員、木村冬樹議員、大野慎治議員、日比野走議員、片岡健一郎議員

9月5日（火）

須藤智子議員、梶谷規子議員、塚崎海緒議員、水野忠三議員、井上真砂美議員

9月6日（水）

梅村均議員、谷平敬子議員、堀江珠恵議員、伊藤隆信議員

⑧ 請願及び陳情について

議会事務局統括主査：資料に基づき説明

本日までに9月定例会で取り扱うべき請願・陳情の提出については、請願3件、陳情1件であることを確認した。請願第2号及び第3号並びに陳情第13号は、意見陳述を希望されていることを確認した。また、9月定例会で取り扱うべき請願・陳情の提出期限は、慣例により、本会議初日8月28日（月）午後5時であることを確認した。請願の本会議提案説明は、請願第2号及び第3号が須藤議員、請願第4号は梅村議員が行うものと確認した。

【質疑】

質疑なし

⑨ その他

（傍聴席のヘルメットについて）

関戸議長：折り畳み式ヘルメットに代わってこれまで使用していたヘルメットを返納するが、それを傍聴席に設置したいという提案である。

須藤副委員長：どれくらい返納されたか。

議会事務局統括主査：これまでのところ4人分である。

谷平委員：これまで使用してきたヘルメットが古くなったので、今回更新したと思うが、その古くなったものを設置するのはいかなものか。

大野議員：屋外の現場作業等でヘルメットを日々使用するのと、いざという時のために保管しておいたものでは、劣化具合も違い、耐用年数そのまま当てはまるとも言い難い。これまでなかったところにヘルメットを設置するという提案であるから理解できる。

須藤副委員長：庁舎1階窓口にも設置してあったが議員が使用していたものと同様のものか。

大野委員：そのとおりである。

木村委員：古いものであるかもしれないがまずは設置してみて、将来的に予算化も必要であれば議論すれば良い。

各委員：異議なし。

（市議会議員の請負の状況の公表に関する条例等について）

梅村委員長：前回の議会運営委員会で協議した件である。近隣市議会の動向を確認することとなっていたが、どうであったか。

議会事務局統括主査：岩倉市のみならず、各市議会で協議されているところである。近隣市議会も同様の調査を行っており、岩倉市議会も含めた近隣市議会の7月時点での結果であるが、尾北五市の春日井市、犬山市、江南市、小牧市、そして尾張西部地区の一宮市、津島市、稲沢市、愛西市、弥富市、あま市は、いずれも検討中というところである。条例等を今の時点で作成するとも作成しないとも決定されたところはない。

（反問の実施に関する要綱について）

梅村委員長：先日の議会基本条例推進協議会で要綱（案）が示されたところである。会派内で検討いただきたいことでもあるが、全議員に関することでもあるので、議会基本条例推進協議会で協議しても良いかと考える。反問が始まったら一定終わるまで時間を止めるものと理解していたが、要綱（案）は議員の発言と執行機関の発言を区別されているように思うがいかがか。

関戸議長：時間を止めるタイミングと再開するタイミングを確認したい。

梅村委員長：規定の言い回しで「しなければならない」と「努めるものとする」では運用に違いが出るので細部を詰めていきたい。議会基本条例推進協議会で協議する時間が有れば一度協議願いたい。

（2）その他

梅村委員長：市図書館に議会の委員会会議録があるが、平成26年のものまでである。平成26年を区切りにその後のものがないなら引き払ってしまっても良いかと考えるがどうか。

大野委員（議会広報委員長）：ホームページの期限を広報委員会で協議したところであるが、それに合わせてはどうか。

片岡副議長：ホームページは平成27年以降の委員会会議録が掲載されている。本会議はホームページで平成8年のものから見ることができる。

木村委員：本会議に合わせてホームページでの掲載となったのかもしれない。

12 その他

特になし